

12/3 (火)

教会の慰めと励ましのために

ヨハネの黙示録一章9〜20節

その声は言った。「あなたが見ていることを巻物に記し、エフエソ、スミルナ、ペルガモン、テイアテイラ、サルデイス、フィラデルフィア、ラオディキアの七つの教会に送れ。」(一一)

この黙示録は、迫害に苦しみ、望みを失いかけている一世紀末の諸教会に、慰めと励ましを与えるために書き送られたものです。黙示文学という独特な表現を用いながら、キリストこそ王の王であり、世界の勝利者であることを力強く語っています。だからこそ、望みを失うことなく信仰に生きよ、と励ますのです。本書が書かれたこのような趣旨を理解せずにこれを読むとき、間違った読み方が生まれます。将来に対する人々の不安に乗じて、黙示録をもとにして破滅的な未来の予言します。教会において黙示録を読むときの最もふさわしい心、それは礼拝の心です。この書は命がけて礼拝がささげられていた当時の教会の礼拝の中で読まれた書物だからです。私たちも主のみ前にひざまずく思いをもって、神による慰めと励ましの声に耳を傾けたいと思います。